



News Release

(別添)

2022年4月28日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

粗雑な作りのガストーチにご用心 ～購入時、使用時に気を付けるポイント～

1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、ガストーチに関する事故は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2017年度から2021年度までの5年間に24件ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

1-1. 事故発生状況

(1) 年別 府県別 事故発生状況

表1 年別 府県別 事故発生件数 (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2017年度		1		2			3
	2018年度	1	1	1	1			4
	2019年度		1		1			2
	2020年度	1		2	3			6
	2021年度		1	6	2			9
合計	事故件数	2	4	9	9	0	0	24

(2) 府県別 被害状況

表 2 府県別 被害状況^{※2} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	軽傷	1 (1)		2 (2)	3 (3)			6 (6)
	拡大被害		3	6	6			15
物的被害	製品破損 ^{※3}	1	1	1				3
合計	事故件数	2	4	9	9	0	0	24
	被害者数	(1)	(0)	(2)	(3)	(0)	(0)	(6)

(※2) ()は被害者数。なお物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

(※3) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと

2. 事故事例の概要

部品（Oリング）の不良によるガス漏れの事故

事故発生年月 2021年5月（大阪府、年齢不明・女性、拡大被害）

【事故の内容】

ネット通販で購入したガストーチを使用後、火が消えず、周辺を焼損した。

【事故の原因】

ガストーチの火力調整ダイヤルの内部でガス漏れを防いでいるOリングの材質に欠陥があったため、使用に伴ってOリングが縮んで小さくなり、出来た隙間から漏れたガスにバーナーの炎が引火したと考えられる。

当該ガストーチはインターネットモールで購入したもので、中国製であったが、製造元及び販売元の連絡先は不明であった。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】

ガストーチ、Oリング、漏れ

表示不備による異常燃焼の事故

事故発生年月 2020年5月（滋賀県、30歳代・男性、軽傷）

【事故の内容】

店舗でガストーチを使用中、ガストーチ及び周辺を焼損し、1名がやけどを負う火災が発生した。

【事故の原因】

大きく傾けて使用した際に異常燃焼が生じる可能性がある構造であるにもかかわらず、その旨の注意表示が記載されておらず、使用者が大きく傾けて使用した際に異常燃焼が生じ、危険を感じてシンク内に投げ入れた後も異常燃焼が継続したため、カセットボンベが過熱されて破裂したものと考えられる。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】

ガストーチ、異常燃焼、表示

3. ガストーチの事故映像について

ガストーチに関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 山崎 卓矢

担当者：製品安全広報課 岡田

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp